

午後 1 時10分再開

○議長（手嶋源五君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問に入ります前に、執行部のほうから訂正の申し出が出ております。

昨日の田中保光議員の一般質問に対する答弁について、訂正の申し出がありましたので、発言を許可いたします。市長。

○市長（森田俊介君） 再開前の時間をいただきまして申しわけないと思います。

昨日の田中保光議員の質問に対する答弁の中で、秋月の杉の馬場の高齢化した桜の診断について、来年度という形で答弁申し上げましたけれども、これは正確には25年度ということですので、訂正しておわび申し上げたいというふうに思います。

○議長（手嶋源五君） ただいまの執行部からの発言のとおり訂正することについては、議長において許可をいたします。

それでは、一般質問を続行いたします。

次に、3 番堀尾俊浩議員の質問を許可します。3 番堀尾俊浩議員。

（3 番堀尾俊浩君登壇）

○3 番（堀尾俊浩君） 皆様、こんにちは。ただいま議長より承認を受けました3 番議員堀尾でございます。傍聴席の方は、今からお見えになるかもしれませんが、ひとつまた御熱心に傍聴いただきたいと思います。本日もありがとうございます。

2 回目の一般質問でございます。今回は、多少は緊張が和らぐかなと思っておりましたが、またさらに緊張しております。どうかよろしくお願い申し上げます。

初回は、教育行政の件、そして有害鳥獣の対策について質問させていただきました。これに関しましては、これからも引き続き取り組んでいきたいと思いますので、執行部の皆様方にもどうぞまたよろしくお願いしておきます。

何人もの質問者の方がごあいさつされましたが、昨年3月11日からもう1年たとうとしております。復興は、まだ端についたような感じでありますが、まだまだこの復興に対しては長い期間を要する国家事業だと思っております。被災地の確実な復興を心から願うものでございます。

話は変わりますが、私が、2月の4日の日、杷木にて、「地域づくりと若者の力」というテーマでの講演会がございました。先ほど、柴山議員のほうから、高校生の発表という分がありましたが、その発表をその場で私初めて聞きました。「高校生による朝倉市の未来予想図」というテーマでした。非常に新鮮な気持ちで聞いた思いが今もございます。若い人たちが自分たちの郷土の将来の姿を描くということは非常に素晴らしいことです。

どうも私どもは、特に私は人の意見を色眼鏡で見てしまうということを感じた1日でしたが、その新鮮な気持ちを忘れずにこれからは質問席から質問させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

（3 番堀尾俊浩君降壇）

○議長（手嶋源五君） 3 番堀尾俊浩議員。

○3 番（堀尾俊浩君） 通告書に基づいて質問させていただきます。

国道322号線安川、秋月、馬田のほうからですが、通っておりますこの国道322号線八丁峠道路整備事業についての質問をさせていただきます。

平成18年に事業化した八丁峠道路トンネルは、市民には全く進捗がわからない状況ですが、朝倉市関係当局としては、まずこれを把握してありますでしょうか。まずその辺から教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（手嶋源五君） 都市建設部長。

○都市建設部長（高良 寛君） 御質問の一般国道322号八丁峠道路です。これにつきましては、現在、北九州国道事務所直轄工事という形で現在進められております。市のほうの窓口としましては、建設課が担当しております、地元の県道事務所あるいは地元秋月を中心とした地元関係者との窓口も建設課のほうで進めておりまして、随時連携をとりながらも進めておる状況でございます。

具体的な内容につきましては担当課長のほうから説明を申し上げますが、現在、用地交渉の最終段階に入っているというふうに認識をしているところでございます。詳しいところは建設課のほうから答えいたします。

○議長（手嶋源五君） 建設課長。

○建設課長（熊本正博君） 今の質問でございますが、この一般国道322号八丁峠道路につきましては、事あるごとに、国、それから福岡県、朝倉市、そして地元でいろいろ情報の交換をさせていただきまして、会議等を常時させていただいておるところでございます。

○議長（手嶋源五君） 3 番堀尾俊浩議員。

○3 番（堀尾俊浩君） 全然私も姿が見えないというか、形が見えないという状況で、地元からもいろいろ聞かれておりました。今のお話では、国、県、そして当局の市、それから地元という形の中で、お話し合いとか説明会とかされているということを今お聞きしました。

先日、気になりまして、1週間前は、実を申しますと、八丁峠入り口のほうから封鎖になっておりました。雪の関係だろうと思います。そういったふうな形でしたが、その前に、嘉麻市のほうから上ってみました。なら、あそこのほうで取りつけ道路の工事が進んでいたわけです。これを見まして、何で地元にないんだろうかと。今課長のほうからも言われましたけれど、地元秋月になりますけど、ほんとに地元というのは安川とか、それから下のほうになってくるだろうと思うんです。道路の交通とか考えれば。

そういったことも含めまして、インターネットで北九州国道事務所ですか、この資料をとりました。そしたら、八丁峠道路の工事に伴う交通切りかえを行いますとか、こういったふうな資料が出てきておりました。これの中に、向う側ですけど詳細が出ておりました。

まずお聞きしたいのは、この工事の概要、こういったふうな形で、いつごろから具体的

に進んで、工事がいつから始まって、こっち側からも。それから費用的なものとか、そういったふうなことをちょっとわかる範囲で教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（手嶋源五君） 建設課長。

○建設課長（熊本正博君） わざわざ現地のほうを確認していただきましてありがとうございます。概要としましては、嘉麻市の大力から朝倉市秋月野鳥に至る延長4,500メートルの道路を新設するようになっております。区間の途中から終点にかけては、八丁道路トンネルが延長が3,791メートルの建設を計画しているところでございます。平成18年度にこの事業が事業化されまして、平成20年度から用地買収及び工事に着手しております。全体事業費は167億円で、これは国の直轄施行でございます。以上です。

○議長（手嶋源五君） 3番堀尾俊浩議員。

○3番（堀尾俊浩君） 今概要言われました。ですから、4,500メートルのうち3,700メートルがトンネルということで、これは工事的にはトンネル工事とかいうのはどういう形になるのでしょうか。向こう、嘉麻市のほうから来るのか、どっちからも来るのか、そういったところを、ちょっと技術的なこと私わかりませんが、具体的にどういうふうにされるのか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（手嶋源五君） 建設課長。

○建設課長（熊本正博君） 今の質問ですが、その前にちょっと進捗状況のほうから説明させていただきますと、現在の進捗状況は、23年度時点で約6%、用地進捗率は23年度10月末で84%でございます。今後は、24年度末よりこれは嘉麻市側になりますが、トンネルの工事に着手するところでございます。その前に、トンネルに入る前に、橋梁の上部、向こうに千手橋というのがございますが、その今度上部工が終わりましたら、あとはトンネルの工事に着手をするということでございます。朝倉市側につきましては、環境調査や用地買収など、引き続き進めていく計画になっております。

それで、さっき申されました地元はどうなっているのかということでございますが、地元説明会につきましては、秋月のほうで対策委員会というのがございますので、これはもう18年のころからずっと進めてきておりますが、それ以外にも、今大体用地のほうも進んできましたので、秋月と安川、上秋月地区の地元役員の説明会を開催するようになっております。以上です。

○議長（手嶋源五君） 3番堀尾俊浩議員。

○3番（堀尾俊浩君） ただいまお話がありましたが、進捗率は6%ですか。用地買収はということでございますが、秋月川のこっちのほうの用地買収というのは大体済んでおるんですか。やっぱりこの84%ぐらいですか。大体めどはついてきているのでしょうか。お願いします。

○議長（手嶋源五君） 建設課長。

○建設課長（熊本正博君） 今申されました用地につきましては、何人かの方がまだ用地のほうの契約が終わっておりませんので、中身については北九州国道事務所のほうでやっておりますので、そのくらいのことしか申し上げられません、申しわけありません。

○議長（手嶋源五君） 3番堀尾俊浩議員。

○3番（堀尾俊浩君） わかりました。数軒の方がということでございます。用地買収という部分はそういう形になっておる。それから地元説明会、これは秋月のほうではされておるということでございます。秋月校区とかいうことになれば、当然安川とかというところも説明をお願いしたいと。それは予定として入れているということでございます。

もう一つお聞きしたいのが、これは当局として把握してあるかどうかかわからないんですが、現在の322、秋月というか安川、あの通行量と、トンネルが完成した後の通行量、それから馬田地区のほうから今、下のほうから322の道路のほうがバイパスができておりますが、これとの連結、これはどのような形を想定してあるのか、管轄が国ですからちょっと違うと思いますが、市のほうで把握してあるという部分があれば教えていただきたいというふうに思います。よろしくお願いします。

○議長（手嶋源五君） 建設課長。

○建設課長（熊本正博君） 現在の通行量は、今言うトンネルのところの入り口付近で長谷山からトンネルまでの分についての通行量は、約975、日、台でございます。将来そのトンネルができたとしましたら6,200、日、台となっております。975台というのは平成22年の調査でございます。将来計画の6,200台については、平成42年となっております。将来計画の年数が。それで、今さっき申されました国道322号バイパスにつきましてでございます。これはまさしくトンネルとの関係がございます。関連して御説明をさせていただきますが、国道322号バイパスにつきましては、工事長が3,340メートル、これは平成16年度より着手をしております。平成16年より着手し、25年度完了予定でございます。

現在、平成23年3月の27日より大刀洗の陣内交差点のところから上浦までの1,500メートル子を供用開始をしているところでございます。今後、馬田の東田の交差点付近まで用地買収とか、それから補償、そして工事を行っていくようになっているところでございます。以上です。

○議長（手嶋源五君） 3番堀尾俊浩議員。

○3番（堀尾俊浩君） 済みません。1つ大事なことを聞き忘れておりました。大体完成予定というのはいつごろになるのでしょうか。今話を聞きよったら、平成四十何年の交通量を言われていましたけれど、大体見込みとしての完成というのは何年ぐらいを見てあるのか、ちょっとその辺はおわかりになりますか。

○議長（手嶋源五君） 建設課長。

○建設課長（熊本正博君） 今のはトンネルのことでございますね。それにつきましては、完了予定というのは、正確なものはないと思いますが、事業認可で出している完了という

のは、平成30年の3月を予定しております。

○議長（手嶋源五君） 3番堀尾俊浩議員。

○3番（堀尾俊浩君） ありがとうございます。平成30年という、私もちょっとこれ知らなかったんです。多少の前後はあると思いますが、そういう形の中で進んでいるということです。

まずちょっと順番を追っていきたいんですけど、トンネル工事が始まれば大量な土砂、聞くとところによると岩、岩盤ということでございます。その量がどのくらいぐらいになるか。聞くとところによると20万立米とかいう話も聞いております。その部分に対しての処理とかいうのも考えてあるのか。市のほうに何か来ているのか。それから、工事に伴う水が出てくると思います。御存じのように、一昨年、7月の14日を境にした水害がありまして、野鳥川が相当河川が荒れました。それに対しては復旧工事も済んでおりますし、そういったことも含めまして、水の処理をどうされるのか。その計画はどうされているのか、その辺がわかりましたら教えていただきたいと思います。

○議長（手嶋源五君） 建設課長。

○建設課長（熊本正博君） ただいまのトンネルの残土の発生見込みでございしますが、発生見込み量は、朝倉市側で7万立米、嘉麻市側で17万立米、全体で24万立米の残土が発生する予定になっております。そういうことで、朝倉市側の7万につきましては朝倉市側で、17万の残土につきましては嘉麻市側でおの処理をするようになるわけでございますが、捨て場等につきましては、現在、これは秋月のコミュニティのほうが主体となって、残土の捨て場の対策をするようになっておりますが、現在、4カ所の候補が上がっております。

それで、朝倉市側もまだ今のところトンネルの掘削は入っておりませんので、もしこのトンネルに入ることになれば、今申しました候補地をまた絞り込んで、その残土捨て場の確保をしていかなければならないかと思っているところでございます。

それから、次に質問がございましたトンネルの湧水の関係でございしますが、この湧水量につきましては、現在、北九州国道事務所のほうはその湧水量については調査中でございます。しかしながら、ある程度の水量は出ているとは思いますが、こればかりは掘ってみないと、どのくらいの量が出るかというのははっきりしたことは言えないということでございましたので、回答は控えさせていただきます。

それで、湧水があることに對しましては、今、地元の秋月の対策委員会と、それから福岡県、それから朝倉市とが一緒になって、その結果がわかれば、野鳥川のあり方についていろいろと今から協議をしていかななくてはならないと考えております。特に、さっき申されましたように、野鳥川の護岸の災害が22年度、23年度で大変ひどうございましたので、その点を考えながら、今言うトンネルの湧水量については検討をしていくようになっていっているところでございます。

○議長（手嶋源五君） 3番堀尾俊浩議員。

○3番（堀尾俊浩君） ありがとうございます。湧水量に関しましては調査中ということでございます。今ほど言われましたように、河川のはんらんとか護岸の決壊もありましたので、もしそういう量の多寡があると思いますが、そこの辺の対策はまたぜひともお願いしたいと思います。

次に、トンネルの取り付け道も図面で見ましたら、結構な、トンネルからすぐ一般道に入るわけではなくて、取り付け道が今度できます。これに関しまして、この開発に伴う環境の影響、発生されると予想される影響とかあれば、これもぜひ教えていただきたいと思います。

○議長（手嶋源五君） 建設課長。

○建設課長（熊本正博君） トンネルができましたら確かに環境が変わると思います。今言われましたように、道路等の取り付けも変わってきますし、その付近の様子も変わってくると思います。

そこで、今申されました環境についてですが、北九州国道事務所のほうでは、環境へ配慮するための振動、それから騒音、大気、それから動植物についての調査予測を国土交通省のほうで行っておるところでございます。内容につきましては、地域説明会をやっておりますが、その説明会等の中で報告をされておるところでございます。

発生されると予測される環境につきましては、現在、地元の対策委員会や福岡県、それから私たち朝倉市で検討しているところでございます。これにつきましても、やはり道路ができてトンネルができて、通行量がどうなるかということになってみないと実際はどう対応していいのかというのがまだ見えない状態でございます。以上です。

○議長（手嶋源五君） 3番堀尾俊浩議員。

○3番（堀尾俊浩君） 今調査中ということでございます。ただ、地元というのが当然秋月の野鳥ということでございますから、地元は秋月になるかもしれませんが、直接の影響とかいうのは安川のほうです。そういったところになろうかと思います。その辺は、一番最初の冒頭のほうで言われました地元説明会の中でもしっかり説明をお願いしたいというふうに思います。

皆さんも御存じのように、秋月は福岡県の中でも小京都と言われております。多くの観光客でにぎわっております。もうすぐ春、桜の季節になりますが、春、それから秋の行楽シーズンになれば、今までは甘木方面からの車で322号線は渋滞しておりました。が、トンネルが開通すれば、嘉麻市方面からも多くの車が、先ほどの数字の中で出ました6,200台というような数字が出てきておりますが、多くの車が流れてくるといいますか、そうなれば、ただでさえ渋滞しているところが、さらに上下からの車で、秋月地区、また322が渋滞が予想されます。その辺の対策とかいう部分は、県とか国とかそういったところとの話という部分はされているのでしょうか。

○議長（手嶋源五君） 建設課長。

○建設課長（熊本正博君） それにつきましては、これも環境等と同じように、地元の対策委員会と市とで、大渋滞を予想して渋滞緩和策が検討されているところでございます。それで、今さっき話したのは、6,200台というのはトンネル側のところではございましたが、持丸北から長谷山の交差点、あそこまでの付近の現在の交通量、8,226台、日、これも平成22年度の調べでわかっておりますが、そういう結果が出ております。以上です。

○議長（手嶋源五君） 3番堀尾俊浩議員。

○3番（堀尾俊浩君） 車が流れるということは、当然人も流れてまいります。こういった形で歓迎する方向もございますが、まずちょっと車の問題でいきますと、322号線、この持丸区間といいますか、平たく言えば持丸北の信号機がございまして。コンビニがございまして、あれから空き地のほうに向かったところ、あそこの322沿いに宅地が住宅も含めて二、三十軒ございまして。この中で、あそこ通行車両が多いんですが、歩道がございません。中には、あそこの住民の方が国道を歩いていっておられると。これは先々交通量が増大すれば大きな事故になりかねませんが、ここの交通歩道とかいう部分の検討とかいう部分をぜひともこれはお願いしたいんですけれど、その辺はどうなんですか。よろしく願います。

○議長（手嶋源五君） 建設課長。

○建設課長（熊本正博君） 今堀尾議員の申された歩道がないと言われたところは持丸の北の交差点がありますね。あれから安川橋までの間の歩道がないところのことでしょうか。

これにつきましては、平成18年度に要望をいただいております。確かに現在でも大型ダンプや一般車両の往来が激しく、民家が張りついた箇所でございます。この箇所につきましては、これはもちろん国道322号線の話でございますので、市の管轄ではございませんので、これにつきましては、一度要望もされておりましたので、再度、福岡県のほうに要望をさせていただきたいと思っております。以上です。

○議長（手嶋源五君） 3番堀尾俊浩議員。

○3番（堀尾俊浩君） ただいま御回答がありましたが、結論は出ないと思っております。これは国道ということで県の担当ということになると思いますが、車両が通行量がふえる。地元の今言われたようなダンプとかいうのは、大体実情はわかっていますから、気をつけて運転されますが、それでも事故が起こりやすい。なおかつ、今度はよそのほうから、北九州方面からの流れが出てくる。また、久留米のほうから直接朝倉市を通過して向こうに流れる。そういった車両が出てくれば、事故が起こりやすい。起こった後では遅いということもございまして。ぜひともこれは県当局のほうとも話を進めていただきたいというふうに思います。必要があれば地元のほうからもまた要望を出していただくということになるかと思いますが、ぜひともそこら辺の取り組みをよろしく願い申し上げます。

次に、人の流れでございます。新聞でも、それから報告もありましたが、新郷土館の予定もされまして、秋月の中におきまして、北九州方面から、今までは横の流れ、福岡のほ

うからの人の移動、そういった部分の分を意識してあったものが、今度は北九州方面からの観光客の増加も多く見込まれると思います。朝倉市内への多くの観光地はございますが、そこ辺に対してのPR、今のやり方と違って、今度は県北部のほうからの意識したPRとか、そういったことが必要になってくると思います。

トンネルが開通となれば、いわゆる山の向こうのほうからの交流人口もふえる。これは多くの観光地を持つ朝倉市にとって大きなビックビジネスチャンスではなかろうかというふうに思っております。今まで点と点のながりであった市内の観光地、これを線に変えて、福岡都市圏だけでなく、北九州方面からの交流人口をふやすことを検討していくということとはぜひとも必要だろうと思っております。

この前、市の観光協会、ともしびだんだん、にぎわいのなんだったかな、そういう会がありまして、そこにも参加させていただきました。案内がございましたので。やはり行政のほうが当然音頭をとって、そういう対外的なPRをしていただく。また、内側においてはそういうシステムというか、仕組みづくりを業者だけじゃなくて住民も当然やっていかないと。そういったことも含めて、こういうふうな交流人口をふやすいいタイミングではなかろうかと思っておりますので、この辺の観光地へのいわゆるお客さんを、交流人口をふやす、その対策というのはどのように考えておられるか、当局にお聞きしたいと思っております。

○議長（手嶋源五君） 商工観光課長。

○商工観光課長（鶴田 浩君） トンネルの完成以後は、議員がおっしゃいますように、北九州方面からの流入がふえるということが考えられます。私どもといたしましては、秋月を単なる通過点としておくことではなくて、観光スポットとして、また北九州方面からの朝倉地域観光の玄関口というようにして位置づけたいと。あわせまして、北九州筑豊方面の朝倉市の認知度を向上させるという取り組みも必要になろうと思っております。そういうふうな、全体的な考え方で観光客の増加に結びつけるということが必要だというふうに思っております。

そのためには、秋月だけでなく、市内観光地へ誘導を促すということが必要になってまいりますので、観光サインの充実、それから北九州・筑豊方面でのイベントの、そちらにありますイベントへの参加、それから情報発信、これらを観光プロモーションといいますけれども、そういう宣伝、プロモーション活動をこれまで以上に充実させていく必要があるなというふうに思います。以上です。

○議長（手嶋源五君） 3番堀尾俊浩議員。

○3番（堀尾俊浩君） ありがとうございます。今課長のほうから言われましたが、観光プロモーション活動ということでございます。これは、ちょっと僕の感覚的なもので申しわけないんですが、ちょっと遅いんじゃないかなと、いろんな意味で。だから、もっと先に先にトライしていつていただきたいという思いがあります。遅きに失したじゃなくて、やせ馬の先走りでも、先に行つてすれば、少なくともプラスにはなると僕は思っております。

す。ぜひともそういった面では、いろんなやり方があると思います。イベント、情報発信、それから向こうのイベントにこちらから行くという方法もありますし、筑前町ではマスコットキャラが何か今度できたということもあります。それをまねせよということではございませんけれども、ちくちゃんやったですか。出ております。そういったふうな形で、隣の筑前町、また隣の東峰村、いろんな意味で活動されております。ぜひとも、朝倉市もまねをせえということじゃなくて、やっぱり独自の活動をお願いしたい。そして、最終的には、トンネルができたということで、旧甘木朝倉、ここの観光地とのつながりというものも実現させていただきたいというふうに思います。よろしくお願いします。

最後になりますが、当然167億円でしたか、この予算総額出ております。となれば、トンネルというのが僕の知っている範囲では、朝倉市側が1キロちょっとぐらいの工事になるかと思います。こういったふうなことを考えれば、167億円、50億円とかざっとした計算ですけど、そういった金というのはこっち側のほうの工事に入ってくるんだらうと、単純に。これは違うかもしれません。それはあれですけど。

そういった中では、非常に今地元の企業も厳しい経営状態をされておると思いますが、今回のこの322号線工事の八丁トンネルの工事及びその附帯工事ですか。地元も期待してあると思います。そういった面では、ぜひ行政のトップ、市長が地元の雇用確保、地元の企業発展またはこういった特殊工事への事業主体となって地元の技術を高めていくという観点からも、ぜひとも関係当局への積極的なトップセールスをお願いしたいと思いますが、どうでしょうか。よろしくお願いします。

○議長（手嶋源五君） 市長。

○市長（森田俊介君） それは当然のこととして、例えば朝倉市の事業等については、極力市内の業者がやっていただきたいという形でやっておりますし、またこれは国土交通省の事業であります。ですから、国土交通省なりの考え方もありましようし、あるいは専門的な工事等ですと、市内の業者がいけないというような問題もあるかもしれません。しかし、いずれにいたしましても、せつかくこういった大きな工事があるということであれば、できるだけやっぱり市内の皆さん方がその工事に携われるということで、という形の中で、国なり県なりをお願いするということはやぶさかではないというふうに思っています。

あわせて、さきのキャラクターの話ですけど、朝倉市にも既にございますので、卑弥呼ちゃんというのが。それをもってどんたくとかにも出ていますので、知っておいていただきたいと思います。

○議長（手嶋源五君） 3番堀尾俊浩議員。

○3番（堀尾俊浩君） 済みません。最後の御指摘があったマスコットキャラ、私も今思い出しました。失礼いたしました。新聞でちくちゃんが出ておりましたので、あらと思ってから思うておりました。ありがとうございます。ぜひともトップセールス、いろんな窓口の相手もありますので、問題というか、ハードルもあると思いますが、ぜひとも先頭

に立って地場産業の育成というものをお願いしたいと思います。ありがとうございました。
続きまして、ワンストップサービスについて質問いたします。

ことしの1月の4日、仕事の初めよりスタートした本庁でのワンストップサービスでは、もう2カ月過ぎました。これは森田市長の住民サービス向上の公約の実現であり、私たちも、議会もいろんな提案をしながら言っていました。仕事納めの後、休日返上で、安部課長以下、ほかの方もおられたかもしれませんが、職員の方の取り組みもあり、1月4日は無事にスタートしたのかなと思っております。

話を聞けば、アンケートをとったりとかされているということでございます。まず、市民の反応や、対応される職員は、スタートして2カ月過ぎましたが、どのような感覚を持っておられるでしょうか。その辺をちょっとお聞かせお願いできますか。

○議長（手嶋源五君） 人事秘書課長。

○人事秘書課長（安部裕志君） ワンストップサービスの1月の満足度の調査というのを
行っております。全部で5項目ございまして、まず1番目に、案内表示についてどうか
ということで、71%の方が満足をしたという回答を受けております。それから、2番目に、
待ち時間です。これについては67%、それから3番目が記入書類のわかりやすさというの
では66%、それから職員説明はどうだったかということで80%、サービス全体ではどうだ
ったかということで、77%の方が満足をしたという回答をいただいております。

前月の12月も集計をしております、それに比較すると、若干数字は変動したという程
度でおさまっているところでございます。だから、1月としては大きな変動はなかったと
いうことでございます。

なお、2月分については今集計中でございますので、またわかり次第御報告される場所
がありましたらそこで御報告させていただきたいと思っております。

それから、問題点も確かに上がっております、代表的なものでは、記入書類を極力ま
とめてほしいという御意見がございまして、それから、電話対応時でございまして、声が大
きくてプライバシーの保護の配慮が欠けていたのではないかなという御意見も伺って
おります。これについては、早速指示をして、改善に努めるようにということで申して
おります。

それから、今後もこの満足度調査を実施して、さらによりよい窓口にしたいと思ってお
るところですが、職員の手ごたえということでございますけれども、アンケートの満足度
調査でも、おおむね良好だったということから、職員についても一定の手ごたえは感じて
いるというような状況だというふうに考えております。以上です。

○議長（手嶋源五君） 3番堀尾俊浩議員。

○3番（堀尾俊浩君） ワンストップサービス導入費用として3,000万円計上されてお
りました。これはフロアの改修費としてとらえるのではなく、窓口に来られる市民へのサー
ビス向上への投資費用という言葉も、12月議会の中で出ておりました。今言われましたよ

うに、良好であると同時に、12月と1月の数字の変化というのもそんなにないと言いながら、問題点としては幾つか出てきております。これが完成型ではないということもあります。ぜひともこれから進化していただきたいというふうに思います。

それから、これはワンストップサービスを行う担当課の業務ではないと思いますが、1つ提案というか考えていただきたいというのがございます。これは朝倉市から転出または市に転入される方が窓口に当然来られると思いますが、こういう方にアンケートをとってはどうでしょうかという提案でございます。なぜ朝倉市に転入してきたか、またなぜ朝倉市にから転出するのか。理由。これは理由は幾つもあると思います。転勤とか、やっぱり就職とかいうこともありましようし、住みにくい、住みやすいとかいろんな問題があると思います。これを複数の回答形式でもいいです。ほかにもいろんな項目があると思いますが、こういったものをアンケート形式でとらえていただいて、データの数としては年間で700件、800件ぐらいになると思います、これは。これをぜひともこれから進めていくまちづくりという部分にテーマとして役立てていただきたいと。半年、1年とデータをとられれば、まちづくりの基本的な役に立つデータになりませんかというのがでございます。提案ではございますが、どうでしょうか。ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（手嶋源五君） 総務部長。

○総務部長（渡邊義明君） ただいまの議員の御提案でございます。市民の生の声をというか、本音を聞けたら、転入・転出そういったときに聞けたらということでございます。今後の政策形成に大いに役立つものだと思いますが、無記名ということ想定されていると思いますが、プライバシーの問題もありますし、どういった方を対象にするとか、またどういった項目をするとかいろんなケースがあると思います。今後、担当部署と協議いたしまして、十分なる検討をしていきたいと考えております。以上でございます。

○議長（手嶋源五君） 3番堀尾俊浩議員。

○3番（堀尾俊浩君） 当然無記名ということになると思いますが、やはりいろんな意味で実際に出ていく人、何で出ていくっちゃろうかということもあろうと思います。そりゃ市民税が高い、下水道料金が低い、そういったこともあるやろうし、住みにくいという人もおらっしゃるかもしれません。逆に転入して来らっしゃる方はどういうことなのかと。そういった生のデータというのをいろんな意味でとらえながら、これをまちづくりの1つの題材としてとらえていただきたいというふうに思います。いろんなとり方はあると思いますが、ぜひともその辺は御検討をお願いしたいと思います。

45分ぐらいでございましたが、これで私の一般質問を終わらせていただきたいと思います。ありがとうございます。

○議長（手嶋源五君） 3番堀尾俊浩議員の質問は終わりました。

10分間休憩いたします。

午後1時57分休憩